
山梨大学教育学部附属教育実践総合センター

センターだより第195号(通巻第262号)

2021年6月30日 発行
山梨大学教育学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp
URL: <https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/>

※このセンターだよりで紹介した研究会、研修、教育フォーラムに関するお知らせは、改変しない限り、自由に複写、配布していただいて結構です。

■「令和3年度 期間採用者等研修」の報告— 山梨県教育委員会・山梨大学連携事業 —

研修の機会が充分でない期間採用教職員等や教育に関する実践力を高めたい教員志望学生・院生を対象に、教育に関する基本的な理念、教職についての基本的な知識、さらには実践的指導力を身に付けるための研鑽の在り方等といった内容を主とした研修を開催しました。

連携する山梨県教育委員会には、講師のご推薦や案内状の県下全校への配付等、多面にわたりご協力をいただきました。

次に紹介する参加者アンケートのとおり、好評のうちに研修を結ぶことができました。

1 実施日時

令和3年5月22日(土) 8:30～12:30

2 実施方法・会場

ZOOMミーティングによるオンライン開催(講師による発信は山梨大学J号館より)

3 実施概要

8:30～ 8:50 受付(ZOOM入室許可)

8:50～ 9:00 開会行事 山梨大学教育学部附属教育実践総合センター長 挨拶 等

9:00～10:00 研修1(全体研修)

「多様な学びの場※における特別な支援が必要な児童・生徒への指導等」

荒川 昌浩(あらかわ まさひろ)先生 わかば支援学校 校長

10:10～11:10 研修2(教科等指導法研修)

「児童・生徒をひきつける授業の工夫」

小学校 小林 知子(こばやし ともこ)先生 田富南小学校 教頭

中学校 三澤 明生(みさわ あきお)先生 鰐沢中学校 校長

高等学校 内藤 京(ないとう たかし)先生 甲府南高等学校 教頭

11:20～12:20 研修3(学級経営研修)

「児童・生徒理解と学級・ホームルームづくりのヒント」

小学校 山本 撰(やまもと おさむ)先生 貢川小学校 教頭

中学校 雨宮 綾(あめみや あや)先生 後屋敷小学校 教諭

高等学校 小林太郎（こばやし たろう）先生 日川高等学校 教頭
 12:20～12:30 閉会行事
 ※ 5月15日（土）ZOOMミーティング準備のための「事前テスト」を開催

4 参加者の状況

全体研修（研修1）受講者人数			
76			単位：人
校種別研修（研修2・研修3）受講者人数			
高等学校分科会 19	受講者の所属校種	高等学校	12
		特別支援学校	3
		小学校	1
		教職大学院生	3
中学校分科会 20	受講者の所属校種	特別支援学校	2
		中学校	11
		小学校	3
		教職大学院生（本学）	3
		教育学部生（本学）	1
小学校分科会 37	受講者の所属校種	特別支援学校	3
		小学校	27
		教職大学院生（本学）	5
		※教職大学院生5名のうち 2名は、現職院生（小学校）	
		教育学部生（本学）	1
		大学職員（本学） ※運営担当教職員以外の者	1

5 参加者アンケートより（一部）

- 研修機会の少ない期間採用向けの講習は、大変ありがたいです。「授業づくりのUD化」の具体例、講師の先生の職場を通しての学び・職業人としての成長のあり方やテレビ番組を例にとった授業の工夫の仕方、また、いじめ事案における「無視の深刻化率」等々、とても勉強になりました。
- コロナ禍の中このような形で研修会を開いてくださりありがとうございました。今日学んだことを早速月曜日からの現場で生かしていきたいと思います。
- 「さりげなく褒める。」「アコモデーション」「明確化」「紡ぐ。」など今後の職務の参考になるようなお話をたくさん聞くことができ、大変勉強になりました。
- 本日は勉強の機会をありがとうございました。現在特別支援学級の担任をさせていただいて、支援の子への教師の対応を子どもたちは見ているとおっしゃったことにとっても共感しました。支援の子は、困っている子という発想の転換と、できることを褒めること、得意不得意なことの共通認識が子どもたち同士でも出来るようこれからも教師が黒子となり努めていきたいと思いました。
- 学校は自分が所属しているところの情報に限られてしまうことが考えられるため、今後も研修の場に積極的に参画し、全国や県内の様々な事例を共有していただき、多くの先生方の考えや対策をもとに学んでいきたい。
- 初めての zoom 研修だったが、無事に終わることができた。案内もわかりやすく、先週の事前テストがありがたかった。

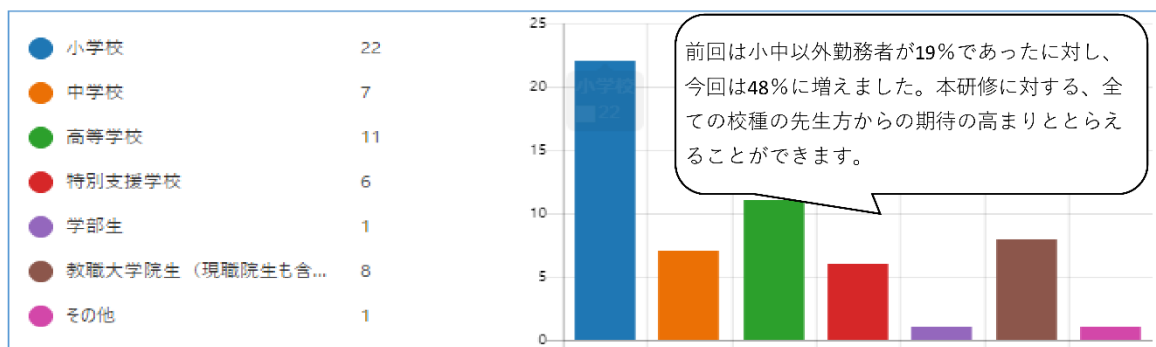
R3 期間採用者等研修 アンケートからの振り返り

2021.5.22

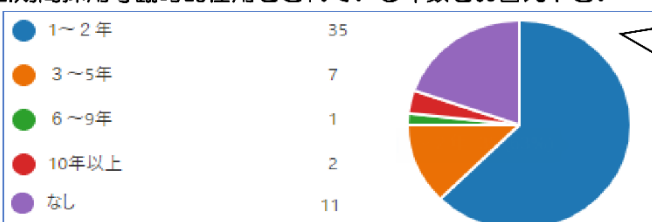
◆アンケート回答者数

56名

Q1.所属する学校種をお答え下さい 単位：人



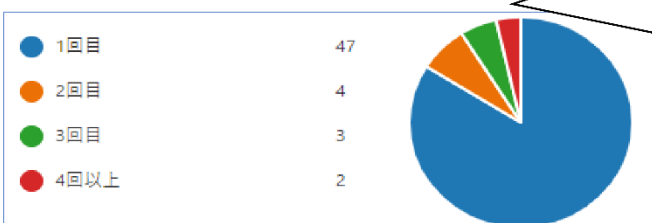
Q2.期間採用等臨時的任用をされている年数をお答え下さい



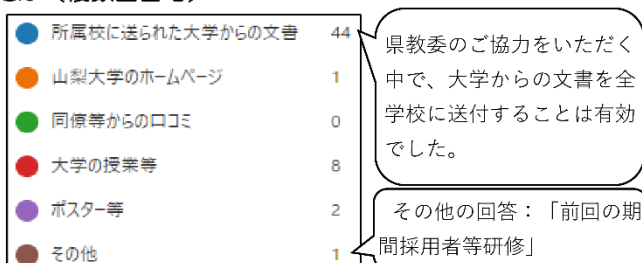
今回は38%に増えました。受講者の経験年数によるニーズに配慮した研修内容となるよう、申込時に年数を伺い、講師に事前にその状況をお伝えする等の必要性が高まりました。

昨年度が中止であったため経年比較は避けま。ただし、2回目以降の方も16%いることに着目すると、本研修の意義をお感じになられてのリピートとして肯定的に評価できる一方、何年も採用に結びついていない方がいるととらえれば本研修が有効になっていないとも評価できます。そこで、複数回受講者の教採に対する立場を把握するため、次回から「本年度教採の受験希望の有無」についての設問設定を検討します。

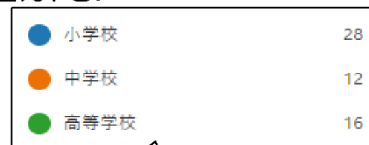
Q3.この研修を受講するのは何回目ですか



Q4.この研修をどのようにして知りましたか（複数回答可）

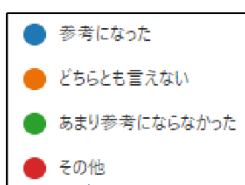


Q5.受講した分科会（研修2・研修3）の校種をお答え下さい

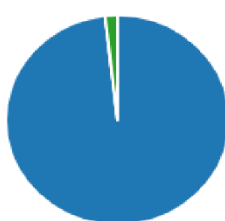


申込時の状況は前掲「4」に詳細

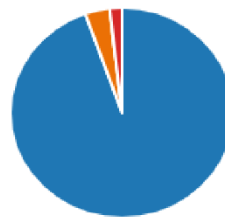
Q6.7.8「研修」の内容についてお答え下さい



高い評価がほとんどでした。講師の皆様に感謝いたします。



研修1（全体研修）



研修2（校種別）
（教科等指導法研修）



研修3（校種別）
（学級経営研修）

■令和3年度 第1回連携・教育研究会 実施報告

山梨県総合教育センターと山梨大学附属教育実践総合センターの連携により、第1回連携・教育研究会を開催しました。顔合わせを兼ねて、今年度の事業計画等を協議し、教育実践・研究に関する情報交換を行いました。

1 日 時 令和3年5月24日（月） 15:00～15:45

2 会 場 山梨県総合教育センター 第3研修室

3 出席者

＜実践センター＞

古家教育学部長，長谷川センター長，青柳特任教授，井上客員教授，清水客員教授，嶋崎客員教授
饗場教授，古屋教授，川本准教授，中込准教授，田中准教授

＜山梨県総合教育センター＞

安達所長，鷹野次長，中村次長，田沢教育研究推進幹，土橋管理部長，中島情報教育部長
弦間相談支援部長，西室研修指導課長，廣瀬業務推進主任，在原指導改善研修主任，野澤指導主事

4 協議内容

（1）連携・教育研究会について

- ・令2年度の実施状況と今年度の事業概要
全ての内容について承認された。

（2）その他

- ・教員免許更新講習，子どもと教師の成長を結ぶ教育評価
研修会について
全ての内容について承認された。

5 連絡事項

- ・センター研究の概要について
- ・研究協力校との研究日程について

